

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハートピア出雲ステップ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 14日		～ 令和 7年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 14日		～ 令和 7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の特性に合わせた療育、支援をしていること	・職員が一人一人の特性を理解し、子どもそれぞれに設定された目標に向かって過不足のない支援を行うようにしていること	・職員間の情報共有を密に行い子ども自身についてや特性の理解を深める ・研修などに参加し、職員それぞれが知識を深め支援のスキルを取得し、さらに支援の質の向上を図る
2	・いろいろな経験が積めること	・子ども自身が興味を持っていることを大切に、活動などに取り入れる ・集団活動、個別活動、自立に向けた活動だけでなくあそびや社会体験、余暇など多様な体験を設定する ・職員も失敗を恐れず新しいことにも取り組み、少しずついかないことも子ども達と一緒に体験し前向きに受け止め次に繋げていく姿を見せること	・提供できる活動を増やすために情報収集をし、活動に設定するための段取りを行い、提供に必要な支援ツールを充実させる
3	・社会参加や自立に向けた支援を行っていること	・子ども一人一人の理解を深め、自己理解、家族や周りの人たちへの理解を広げる ・一人一人に必要なライフスキルの向上を目指した目標設定とスキルアップのための自覚とスキルの取得に向けての支援	・研修などに参加し、支援の質の向上を図る

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育の場でより良い支援をする為に十分な職員が配置できない時がある	・職員の休みが重なった時や送迎箇所が多い時に現場の職員が不足する ・ケース会議などの時間が療育の時間と被ることが多いため、現場が人員不足になる	・職員が休みやすく、且つ必要な支援が提供できるような職員数、そのための加算 ・活動の設定や環境の調整を行い、且つ視覚支援を用いて人の力だけに頼らないような工夫
2	・支援以外の業務が多く、療育に必要な業務への時間が確保できない	・制度改正により新たな業務が多々追加され、考案や作成などに時間を割かれる	・児童発達支援管理責任者の増員
3	・送迎員の確保が難しく、送迎員がいたとしても車が足りないことがある	・療育の時間と送迎の時間が重なる時、送迎時間が遅い場所が多い時に人員不足になる	・送迎員の増員 ・同法人内の他部署に応援をお願いする